

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立浜名特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜名特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	117人

1. 使用状況

寄贈物品名	コードレススティック掃除機
使用学年及び人数	小学部3学年から高等部3年生まで
使用頻度	毎日の使用から週数回、年に数か月など活動によって異なる。
使用状況	<p>【小学部】 日常生活の指導における清掃活動にて教室清掃や廊下清掃に使用している。また、学級活動『校内クリーン作戦』において、校内の各場所で清掃活動をした。</p> <p>【中学部】 日常生活の指導、学級活動は小学部同様。生活単元学習『仕事体験』において、清掃業体験として掃除機を扱った。</p> <p>【高等部】 家庭科『身の回りの環境を整えよう』の授業にて使用した。</p>
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホースやコードがないため、児童でも扱いやすく、清掃の時間でなくても気づいたときに手軽に使用する姿が見られるようになった。 ・軽量なため、持ち運びやすく、生徒が清掃場所まで自分で運んで清掃することができるようになった。本年度入学した小柄な生徒でも持ち運びができるため、準備から片付けまで生徒のみで活動できる。このことが自己有用感につながり、仕事を依頼されると進んで活動できる姿が増えてきている。 ・高等部の階段掃除では、コードレス、軽量という掃除機が生徒にとって扱いやすく、自在ぼうきよりも生徒が掃除に取り組む姿に積極性が表れていた。
今後の活用の見通しや課題	導入後の1年間で、コードレススティック掃除機の存在を認識し、活用する中高生。1年目は少数の小学部児童による活用だったが、2年目は使用学年が2倍にまで広がった。簡便に扱えることの良さを生かし、さらに低学年児童の児童まで波及していきたい。そして、家庭での手伝いへとつながっていくことや就労先での清掃活動などへと一般化することを目指す。さらに、ごみ処理の仕方や掃除機の手入れなどの学習にも発展させることを考えている。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



小学部5年生の清掃活動。
身長138cmの小学生でも手軽に扱うことができ
ています。さらに、機械に興味がある男子
には効果が大きいです。



中学部2年生の清掃活動。
自立グループの生徒で、歩行が不安定な
生徒でも扱える簡単便利な掃除機。
掃除機のおかげで掃除が手軽にできる
ようになり、活動が広がりました。



高等部1年生の家庭科の授業。
階段から踊り場まで一気に進められる
手軽さから生徒の顔にも笑みがこぼれて
います。掃除が楽しくなっています。

高等部1年生の家庭科の授業。
狭い廊下を活用して、家庭内の場所を
想定しての学習。軽量な掃除機は高校生
にとって扱いやすく、20分程度の掃除にも
余裕をもって取り組むことができました。

